

平成28年(ラ)第2号 高浜原発3, 4号機運転差止仮処分命令保全異議申立決定に対する保全抗告事件

抗告人 松田正 ほか8名

債務者 関西電力株式会社

証拠説明書(34)

平成28年2月25日

名古屋高等裁判所金沢支部 御中

抗告人ら代理人弁護士 河合弘之

ほか 21名

号証	標目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨	備考
甲513	インターネット新聞 記事	写し	H27. 7. 22	時事通信社	時事通信社が平成27年7月に実施した世論調査では、原発再稼働に反対する意見が54.3%と過半数を占め、賛成の32.7%を大きく上回ったこと
甲514	インターネット新聞 記事	写し	H27. 8. 25	朝日新聞社	同年8月に朝日新聞社が実施した世論調査でも、川内原発の再稼働を「よくなかった」とする意見は49%であり、「よかった」の30%を大きく上回ったこと
甲515	変動帯に立地する原子力関連施設の耐震安全性評価に関わる地質学的問題	写し	平成27年 3月	池田安隆	深部伏在断層を把握することは不可能であること
甲516	大飯発電所、高浜発電所 F0-A~F0-B断層と熊川断層の連動に関する調査結果 (コメント回答) (抄)	写し	平成25年 11月1日	相手方	原子力規制委員会の審査過程で、相手方に対し、F0-A~F0-B~熊川断層の3連動を認めるべきだという強い意見があったこと
甲517	なぜ武村式では入倉式より大きな地震規模になるのか 武村式は日本の地震の特性で評価してい	写し	平成26年 1月9日	美浜の会	入倉式と武村式の結果の相違は、入倉式が世界の地震データを使っているのに対し、武村式は日本の地震データを使っていることに起

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作 成 者	立 証 趣 旨	備 考
	る			因するものであること	
甲518	「(2) 深層防護レベルとは何か」と題する文書	写し	H25. 9. 4 大阪大学 ・高田孝 准教授	多層防護（深層防護）について、あるレベルの対策が十分だから次のレベルは甘くてもよいといった考え方をとってはならないこと、他のレベルに依存して対策を考えるものではないこと等	
甲519	原子力規制委員会第27回会議議事録	写し	H25. 2. 6 原子力規 制委員会	更田豊志原子力規制委員会委員も、平成25年2月6日に開催された原子力規制委員会第27回会議で、深層防護の考え方について、「1つの目的を達成するために、多層の防護策を用意すること。一つ一つの層を検討するときには、他の層に期待せず、その層だけで、その目的を達成するように対策を作り上げること。これは、前段否定、後段否定を含めた深層防護の考え方を徹底すること。」と説明していること等	
甲520	特集ワイド「防災」の原発列島 福井県福井市・高浜再稼働、地裁決定三つの疑問 時代遅れの「危険無視」?	写し	H28. 2. 10 毎日新聞	<ul style="list-style-type: none"> ・原決定の「社会通念上無視し得る程度まで管理されている」との法理論は再稼働容認の結論を持ち出すための時代遅れのものだと元裁判官が断じていること等 ・原決定が、規制基準のあいまいさを批判しながら、基準に不合理な点はないとの矛盾した判断をしていること等 ・原決定が本件原発を襲う地震による危険について、無視しようと判断した根拠である基準地震動の年超過確率の考え方は、事実と反するどころか、地震専門家から疑義が呈されていること等 	